



一般社団法人 日本病理学会
〒113-0034
東京都文京区湯島1-2-5
聖堂前ビル7階
TEL: 03-6206-9070
FAX: 03-6206-9077
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第311号

平成25年(2013年)12月刊

1. 学術評議員関連規定の改定と新学術評議員の推薦について

先の理事会(甲府)において、学術評議員内規が改定となり、学術評議員は、「本学会の教育、研究、病理診断に関わる事項について評議するとともに、定款ならびにここに定める資格をもって、病理学の発展に貢献する責務を有する。」ものとなりました。また、同理事会、総会において、学術評議員のキーワード登録、及び学術評議員の会費値下げも決定しております。詳細は本学会ホームページ(HP)をご参照下さい。

これらの主旨を充分ご理解いただき、下記の本学会学術評議員資格に照らし合わせ、学術評議員として適当と思われる会員がありましたら、規定の申請書/推薦書(本学会HPよりダウンロード)を用いてその候補者の所属機関、職名、略歴並びに業績目録をそえ、推薦者2名連署(ともに学術評議員であること)のうえ、平成26年1月31日(消印有効)までに学会事務局宛書留等にてお送り下さい。

学術評議員資格

病理研究歴満7年以上、会員歴5年以上の会員で以下の条件の一つを満たすもの

- 病理学(学際分野を含む)に関する原著論文3編以上で、少なくとも1編の筆頭著者である者
- 病理専門医あるいは口腔病理専門医資格取得者で論文発表の筆頭著者1編以上である者
- 入会歴5年以上を満たさないが、傑出した業績を上げていると資格審査委員会で認めた者

- 注: 1) 論文は和文・英文を問わない
2) 病理専門医あるいは口腔病理専門医の論文は症例報告を含む
3) 著書については、別刷(コピー可)5編以内を提出すること

提出書類

- 学術評議員申請書/推薦書式(HPよりダウンロード)
- 代表的な自著論文の別刷りのコピー 5編以内

受付期限 平成26年1月31日(金) ※当日消印有効

提出先・問合せ先

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル7階
一般社団法人日本病理学会 学術評議員推薦受付係

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp TEL: 03-6206-9070

※申請・推薦に際しては必ずHP「新着情報」12/9付記事をご参照下さい。

<http://pathology.or.jp/news/whats/a-councilor-h26.html>

2. 学術研究賞演説(A演説), B演説について(公募のお知らせ)

平成26年秋開催予定の第60回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説(A演説)とB演説の募集をいたします。

これら演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

学術研究賞演説(A演説)

- 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- 原則として日本国内で行われた研究であること。
- 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

B演説

- 症例報告または症例の蓄積による解析。

学術研究賞演説(A演説)

- 応募資格: 日本病理学会員でありかつ学術評議員による推薦を受けた者。ただし、応募者自身が学術評議員である場合、自薦で可とする。

(2) 提出書類:

・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録(800字以内)などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。

※HP「新着情報」12/9付記事

<http://pathology.or.jp/news/whats/abh26advertise-20131209.html>

- ・講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の一覧。
- ・代表的な自著論文 5 編以内の別刷各 3 部（コピー可）。

- (3) 提出先：〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル 7 階 日本病理学会事務局
「学術研究賞演説（A 演説）応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：平成 26 年 1 月 31 日（金）
※当日消印有効

B 演説

- (1) 応募資格：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。
- (2) 提出書類：
 - ・日本病理学会ホームページ（同上）よりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（800 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。
 - ・講演内容に関係のある自著論文があればその一覧（5 編以内）。
- (3) 提出先：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。「B 演説応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。
以上

3. 平成 25 年度学術奨励賞受賞候補者の推薦について

日本病理学会学術委員会は、平成 25 年度学術奨励賞受賞候補者の推薦を以下のとおり募集いたします。

学術奨励賞は、病理学の基礎的研究あるいは診断業務の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

受賞対象者は、年度末（平成 26 年 3 月 31 日）において 3 年以上の会員歴を持つ 40 歳以下の会員です。

推薦要領

- 1) 本年度は、数名への授与を予定しています。
- 2) 募集締切り期日は、平成 26 年 1 月 31 日金曜日（当日消印有効）とします。
- 3) 候補者の推薦にあたっては、日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式をご利用の上、書留郵便にて日本病理学会事務局までご送付ください。ダウンロードできない場合には本学会事務局までご請求ください。
※ HP「新着情報」12/9 付記事
<http://pathology.or.jp/news/whats/youngawardh25advertise.html>

- 4) 学術奨励賞受賞者には、賞状と記念品が贈呈されます。
- 5) 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行います。

なお、本件についてご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

4. 平成 25 年度日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞公募について

概要：

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も強力に推進する必要がある。ところが昨今の若手医師の研究指向者の激減は憂慮すべき問題である。この問題を少しでも解決するべく、2011 年から 5 年間に渡り、病理学研究新人賞を設定し、若手医師の大学院生を鼓舞することとした。選考は書面による 1 次審査（8 名以内）と春期の病理学会総会時において口頭発表による 2 次審査を行い、5 名を選出する。春期の日本病理学会総会で表彰し、賞金 10 万円を付与する。

対象：以下のすべての要件を満たす者を本賞応募の対象者とする。

- 1) 日本の大学の医学部・歯学部大学院病理学教室（あるいはそれに相当する教室）博士課程に所属する学生であること（応募時）。
- 2) 応募翌年度の 4 月 1 日において、35 歳以下であること。（応募締切 1 月 31 日）
（平成 25 年度対象者：昭和 53 年 4 月 2 日以降生まれ）
- 3) 日本の医師免許あるいは歯科医師免許を有する者。ただし、日本の大学の MD/PhD コースの学生で博士課程に所属する者は応募可能とする。
- 4) 1 年間以上、日本病理学会の会員である者。

提出書類：すべて A4 の大きさの紙媒体で提出のこと。

- 1) 履歴書（高校卒業以降、生年月日・連絡先を含めること）
- 2) 業績録（著者名をすべて記載し、代表論文 3 編までに関して、要旨を含むページのコピー 1 枚ずつを提出）
- 3) 本人自身の研究業績の要約（1 枚、必ずタイトルをつけること）
- 4) 所属講座の教授（あるいは指導教官）の推薦書（1 枚）
- 5) 大学院在籍証明書（コピー可）
- 6) 医師免許証のコピー（MD/PhD コースの学生は不要）
- 7) 受賞した場合、受賞後 2 年以内に本学会学会誌 Pathology International へ投稿を行うという誓約書（形式自由；原著あるいは総説で共著可）。

なお、受賞後、応募時提出内容に虚偽があることが判明し

た場合、後日審議の上、受賞の取り消しならびに賞金の返還を求めることがある。

提出先：簡易書留などで送付のこと（締切 平成 26 年 1 月 31 日必着）。

〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル 7 階
日本病理学会事務局 研究新人賞受付係

電話：03-6206-9070, ファックス：03-6206-9077,

電子メール：jsp-admin@umin.ac.jp

参照 HP：「新着情報」11/30 付記事

<http://pathology.or.jp/jigyuu/100syuunen/rookie-award-131204.html>

選考予定：1 次審査の結果は、平成 26 年 2 月末日までに郵送で連絡する。今年度の 2 次審査は、平成 26 年 4 月 24 日（木曜日）午後 14:50-16:50（時間のみ予定）に第 103 回日本病理学会総会（広島市）において実施する（発表 10 分、質疑 5 分の予定）。2 次審査は公開とし、そのプログラムはウェブで公知する。なお、2 次審査参加のための交通費・宿泊費ならびに総会参加費は各自の負担とする。

5. 2014 年細胞診講習会受講希望者 キャンセル待ち受付のお知らせ

2014 年の細胞診講習会（病理専門医制度運営委員会担当）の募集は平成 25 年 12 月 13 日をもって締め切りました。期限までにお申し込みいただいた方は原則全員受講可能ですので、ご予約下さい。各種書類は平成 26 年 1 月中にお送りいたします。

なお、定員 90 名に対し、わずかに空席がございます。今回の講習会の受講を希望される方で、まだお申し込みでない方がいらっしゃいましたら、本学会 HP 記事をご参照の上、お手続き下さい。予定数に達した時点で締め切ります。

※この講習会は病理専門医受験資格要件のひとつとなっています。詳細は HP をご確認ください。

- 1) 日 時：2014 年 2 月 22 日（土） 9:00～17:15
（第 1 日：受付、講義、実習、質疑）
2014 年 2 月 23 日（日） 9:00～15:15
（第 2 日：講義、実習、質疑）
- 2) 会 場：東京都新宿区信濃町 35 慶應義塾大学医学部 東校舎 2 階講堂および地下実習室
世話人 慶應義塾大学医学部病理学教室
岡田 保典
- 3) 受講料：33,000 円
（ハンドアウト・CD-ROM・昼食代込み）
採用通知とともに振替用紙をお送りします（1 月頃）。
- 4) 申し込み・詳細：HP「新着情報」11/5 付記事

<http://pathology.or.jp/news/whats/cytology2014.html>

6. 平成 26 年 4 月 1 日付 指導医登録について

標記の希望者について申請受付をいたしますので、病理学会事務局宛その旨ご連絡下さい。

連絡先：日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

申請期限：平成 26 年 1 月末日

対象：「更新」を一度以上行った現役病理専門医で、まだ指導医登録をされていない方

※今秋初めて更新手続きをされた方、または今秋病理専門医更新手続きを行われた先生で、未登録の先生には、更新認可シールとともに、一律書類をお送りいたしますので、ご連絡は不要です。

7. 日英病理学会交流事業について（公募のお知らせ）

英国病理学会との交流事業につき、下記の要領にて公募いたします。

記

英国病理学会への派遣（第 4 回）

2014 年英国病理学会（ロンドン 2014 年 8 月 30 日～9 月 3 日）にてポスター発表への参加を行う。

Junior Pathologist 2 名（渡航費については日本病理学会より 1 人 15 万円の補助、英国滞在費・学会登録費は英国病理学会負担）

- ・英国病理学会に抄録を提出しポスター発表を行う事。
- ・原則として派遣時日本病理学会会員歴満 3 年以上の者。
- ・会期終了後、交流事業の一環として英国の大学、病院等の見学を行うこと。

対象者：Junior Pathologist（原則としてこれから病理専門医を受験しようとする者）

応募方法：応募用紙と英文の演題の abstract（400 words 程度）を提出する。

提出先：東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル 7 階

一般社団法人日本病理学会事務局

締め切り：平成 26 年 1 月 31 日

参加者の選考は国際交流委員会で行います。

本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または国際交流委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局（応募用紙取寄せ先）

TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-7077

jsp-admin@umin.ac.jp

国際交流委員長（笹野公伸）：

TEL 022-717-7450 FAX 022-273-5976

8. 平成 25 年度功労会員の推戴について

平成 25 年度における新功労会員は、下記の 41 名が推戴されました（ABC 順）。

阿部 正文 加藤 一夫 中山 雅弘

浅野 重之	河端 美則	中里 洋一
榎本 克彦	川野 潔	阪本 晴彦
福田 悠	岸川 正大	笹栗 靖之
古里 征国	虎頭 廉	佐々木功典
張ヶ谷健一	興梠 隆	指方 輝正
林 博隆	久米 光	芝山 雄老
廣田 紀男	増田 高行	塩田 敬
堀江 弘	松原 修	園部 宏
今村 哲夫	松田 幹夫	高橋 達郎
石 和久	村上 榮	山口 裕
石黒 信吾	内藤 眞	山本 浩嗣
磯田幸太郎	中島 孝	山下 憲一
覚道 健一	中野 雅行	

7086	福岡和白病院
7087	北九州市立八幡病院
7088	飯塚市立病院
7089	国家公務員共済組合連合会熊本中央病院
7090	健康保険人吉総合病院

9. 平成 25 年度認定施設, 登録施設 (第 36 回) 審査について

認定施設, 登録施設としての新規の申請は, 6 件, 26 件でした。審査の結果, 認定施設は 4 件, 登録施設はすべてが承認されました。認定 (登録) 期間は, 平成 25 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までです。

(1) 認定施設

認定番号	病院名
2012	公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院
2037	一般財団法人大原総合病院
4046	トヨタ記念病院
5092	神戸赤十字病院

(2) 登録施設

登録番号	病院名
1039	市立小樽病院
1040	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター
2037	つがる西北五広域連合西北中央病院
3027	桐生厚生総合病院
3085	公益財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院
3098	東京ベイ・浦安市川医療センター
3133	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
3134	老年研究所附属病院
3135	独立行政法人国立病院機構西群馬病院
3136	埼玉県立がんセンター
3137	津田沼中央総合病院
3138	日野市立病院
4128	社会医療法人明陽会成田記念病院
4129	社会医療法人杏嶺会一宮西病院
5092	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
5121	市立福知山市民病院
5122	八尾市立病院
5123	一般財団法人住友病院
5124	兵庫県立淡路医療センター
6012	高知赤十字病院
7085	福岡県済生会八幡総合病院

10. 「我が国の不正な臨床研究報告に関する日本医学学会の見解」について

日本医学学会より標記の見解が 11 月 6 日付けで発表されました。内容については日本医学学会ホームページ <http://jams.med.or.jp/news/034.pdf> をご参照下さい。

11. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

石河 利隆	元学術評議員 (平成 25 年 11 月 9 日ご逝去)
橋本 紀三	功労会員 (平成 25 年 11 月 29 日ご逝去)
安藤 政克	学術評議員 (平成 25 年 12 月 6 日ご逝去)

お知らせ

1. 第 12 回日本腎病理協会研究会開催のお知らせ

開催日時: 平成 26 年 1 月 11 日 (14:00-18:30),
12 日 (8:30-12:30)

会 場: 日本医科大学橘桜会館

(〒 113-0023 文京区向丘 2-20-7)

TEL 03-3827-6028 FAX 03-3824-7691

会 費: 5000 円

申し込み: 参加ご希望の方は, 以下のアドレスに事前に必ず申し込みをお願いいたします。

jinyour2014@yahoo.co.jp

詳 細:

<http://plaza.umin.ac.jp/~arps/rps/arpsmeeting/2014/rps140111.html>

* 腎病理協会員以外の参加も歓迎いたしますが, 会場の関係で今回は会員以外の方の定員を 60 名とさせていただきます。

2. 第 45 回 (平成 26 年度) 公益財団法人三菱財団自然科学研究助成について

募集期間: 平成 26 年 1 月 7 日から 2 月 4 日

詳 細: <http://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/>

連 絡 先: (公財) 三菱財団事務局

〒 100-0005 東京都千代田区丸の内 2-3-1

三菱商事ビルディング 21 階

TEL 03-3214-5754 FAX 03-3215-7168

3. 第54回藤原賞受賞候補者の推薦について

詳細：<http://www.fujizai.or.jp/download.htm>

申込み締切り：平成26年1月31日（金）

連絡先：公益財団法人 藤原科学財団

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

TEL 03-3561-7736 FAX 03-3561-7860

本学会からの推薦希望者はお早めに本学会事務局宛ご連絡下さい。

4. 日中医学協会 2014年度助成募集について

募集項目：A) 調査・研究助成

B) 若手在留中国人研究者助成

募集期限：平成26年1月15日（消印有効）

詳細：<http://www.jpcnma.or.jp/>

お問合せ：（公財）日中医学協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3

住泉KMビル6階

電話 03-5829-9123 FAX 03-3866-9080

E-mail: jyosei@jpcnma.or.jp

5. 医学教育学会主催公開シンポジウムのご案内

テーマ：「医学系大学院の在り方を考えるーより良い医療のためにー」

日時：2014年1月13日（月・成人の日）

13時30分～16時

会場：東京医科歯科大学M&Dタワー2階

共用講義室1

主催：一般社団法人日本医学教育学会大学院教育委員会

詳細：

<http://www.tmd.ac.jp/grad/merd/Japanese/info/pdf/20140113.pdf>

6. 「医薬品・医療機器等安全情報」No. 307 公開（厚生労働省HPより）

http://www1.mhlw.go.jp/kinkyu/iyaku_j/iyaku_j/anzenseijyouhou.html
情報の概要

医薬品副作用被害救済制度の概要と医薬品の使用が適正と認められない事例について 他